

1. 基本的な考え方

アスリートの安全・安心を確保し、新型コロナウイルス感染症から国民を守るため、第2回調整会議で議論した水際対策等の考え方を踏まえ、アスリート(※)を閉じたエリアで管理するとともに、個人に着目した感染症対策を徹底する。

- (1) 感染防止策の徹底
- (2) モニタリングの徹底(アスリートの体調管理)
- (3) 発症時の積極的な介入

(1)(2)(3)を基本に具体的な対策を検討してはどうか。今後、詳細はIOC、IPC等とともに検討。

(※) 対策の対象として、アスリートのほか、指導者(監督、コーチ)、トレーナー、練習パートナー、キャディ、スタッフ、ドクター等を含むが、詳細については今後検討

(1) 感染防止策の徹底

① 基本的な感染防止策の周知・徹底(次頁(基本的な感染防止策の視点)を参照)

- ・アスリートによるマスク着用、手指消毒、3密回避等の実践
- ・飛沫防止資機材の設置、適切な社会的距離の確保等の飛沫感染防止策の徹底
- ・清掃・消毒等、接触感染防止策の徹底
- ・マスク着用、発熱者の出勤停止等、アスリートと接触するスタッフ等の感染防止策の徹底 等

② アスリート行動ルール等の徹底(資料2-3)

- ・アスリートが行動できる範囲は、原則、大会運営上組織委員会が管理を行う施設(競技会場、練習会場等)又は組織委員会が事前に確認した施設(各国選手団が手配した練習会場等)に限定
- ・原則として専用車両で移動。但し、公共交通機関の利用がやむを得ない場合は限定的に利用(航空機、新幹線等)
- ・①に掲げる感染防止策やモニタリングのプロセスについても詳細に規定
- ・選手村に滞在しないアスリートについてもこのルール等を徹底 等

※パラアスリートの障がい種別に応じた適切な感染防止策と、安全な競技運営の両立を図る

※当該ルール等の実効性の担保並びに感染防止策の実施に伴うアスリートへのサービスの見直しについては、今後IOC、IPC等と調整していく

③ 選手村等におけるアスリートに対する検査のあり方(資料2-2)

④ 競技別対策・ルールのあり方(資料2-4)

(2) モニタリングの徹底

アスリートの健康状態の把握とフォロー

- ・入村後の日常生活におけるアスリートの体調を定期的に確認
- ・症状がある、心配があると報告したアスリートには個別連絡し、選手村総合診療所の受診に繋げる
- ・検査は必要な際に適切に実施できるよう体制を整えるとともに、陽性が判明した場合のフォローの仕組みを検討 等

(3) 発症時の積極的な介入

継続的な健康観察、保健医療体制等の確保、発症時の追跡調査等については、第4回以降の調整会議において議論

基本的な感染防止策の視点

① 各個人による感染防止策

- アスリート行動ルール等に基づくアスリート一人ひとりの感染防止策の実施
体温計やマスクのほか、感染予防に関する手引きを作成し、これらを提供するなど、アスリート一人ひとりに対する感染防止策の周知徹底と啓発など

② 密閉対策

- 換気の悪い密閉空間を作り出さないため換気を実施
窓開放、機械換気の常時稼働、建物・諸室出入口の開放、サーキュレーター等設置など

③ 密集・密接対策

- アスリート同士やスタッフとの接触機会における密集・密接対策を実施
アクリル板などによる飛沫対策、社会的距離の確保、利用人数制限、リモート会議の推奨、共有スペースでの会話を減らす案内など

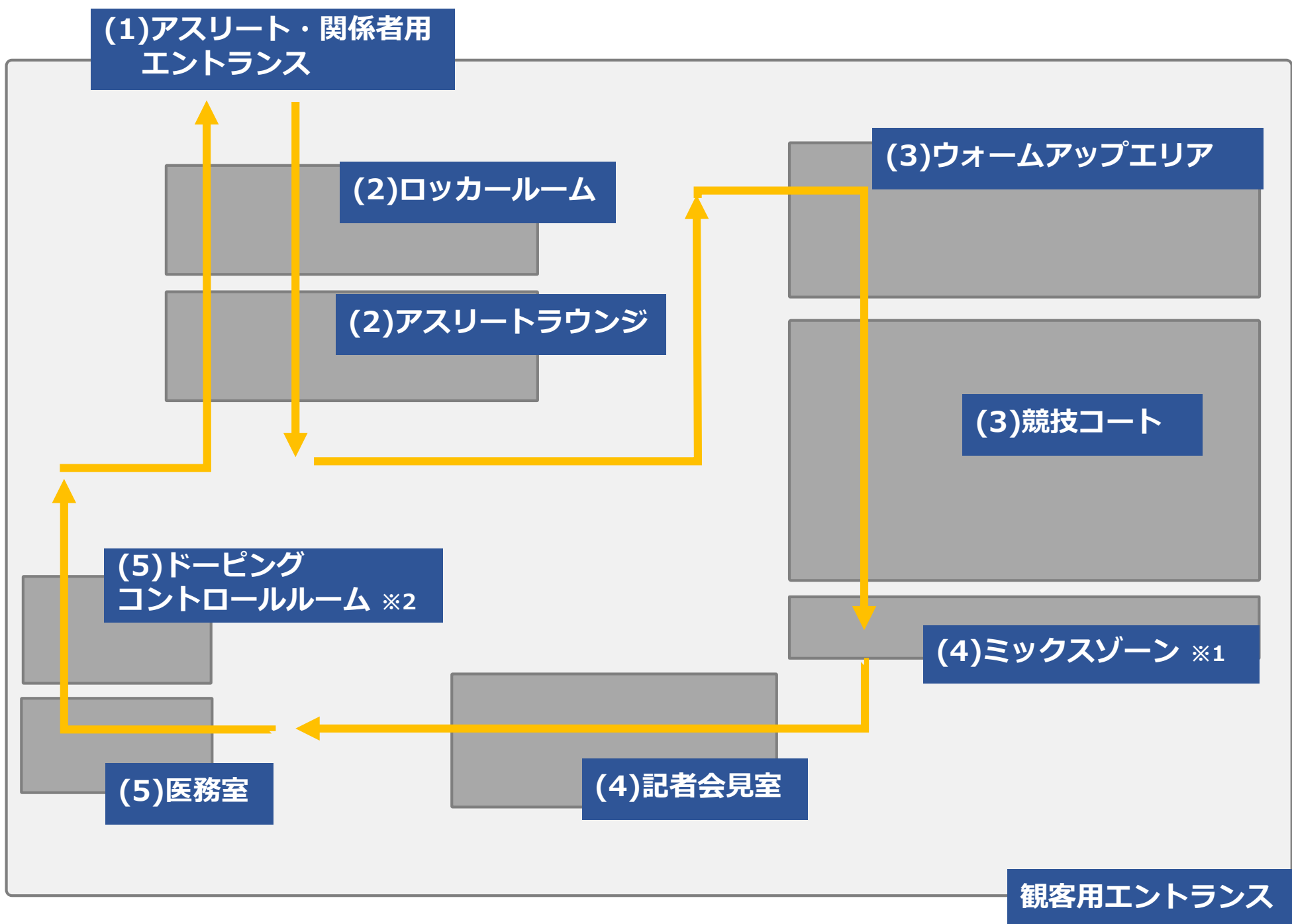
④ モノ経由の接触感染回避

- 可能な限り共有使用物の使いまわしを回避するとともに、避けられない場合については、徹底的な消毒を実施
貸出備品など共有物品の削減や消毒、貸出から据え置きへの変更、高頻度接触箇所の消毒など

1. 競技会場等の概要

- 競技会場・・・全43会場（別紙1「競技会場一覧」参照）
- 国際放送センター/メインプレスセンター
- 練習会場・・・組織委員会がアスリートのために公式に用意する都内外の自治体及び民間・大学の体育施設等

2. 競技会場におけるアスリートの動線（概念図）



- ※1 競技直後ロッカールームへ引き上げるアスリートに対して記者が簡単なインタビューをする取材用の場所
- ※2 ドーピング検査対象となったアスリートから検体を採取する場所

3.基本方針

○ゾーニングを徹底して、アスリートとスタッフ等の接触を最小限にする。

○アスリートと接触せざるを得ないスタッフ等に対しては徹底した感染防止策を講じる。

上記基本方針をもとに、競技や各会場の特性等を踏まえ以下の対策の検討をしてはどうか。

4.具体的な対策案

(1) アスリート・関係者用エントランス

- ・アスリートへの体温チェック
- ・エントランスの混雑回避
- ・手指消毒の励行等、感染防止策の呼びかけ

等

(2) ロッカールーム・アスリートラウンジ

- ・間隔をあけたロッカー・座席等の使用、円陣・檄を飛ばす・歌を歌うなどの行動制限により、飛沫対策を徹底
- ・アスリートラウンジにおける食事については、スタッフの感染防止策を徹底した上で提供さらに必要に応じて食事の提供方法についても変更を検討
- ・清掃・消毒の頻度を増やす

等

(3) 競技コート・ウォームアップエリア

- ・競技運営に不可欠な審判・スタッフ・ボランティアの感染防止策の徹底
- ・競技コート・競技用備品の消毒の徹底（消毒が難しい場合は備品数の増加も検討）
- ・表彰式の運営方法について見直しを検討

※なお、アスリートが観客席で観戦することについては、感染防止の観点から見直しを検討

等

(4) ミックスゾーン・記者会見室

- ・アスリートとメディア・スタッフ間の社会的距離の確保（リモートの取材方式の可否を含め検討）
- ・清掃・消毒の頻度を増やす（マイク・椅子・機材等）
- ・取材エリアに入る人数を制限

等

(5) 医務室・ドーピングコントロールルーム

- ・スタッフ・ボランティアの感染防止策を徹底（マスク・ガウン等防護具の着用等）
- ・医師の判断により、感染が疑われる者を隔離・搬送
- ・感染リスクを踏まえた診療手順の策定（患者の入室時のマスク着用の徹底等）
- ・清掃・消毒の頻度を増やす

等

※国際放送センター・メインプレスセンター・練習会場においても、上記を踏まえた対策を検討

選手村におけるアスリートの感染症対策について（案）

1. 選手村の概要

選手村は、国、競技等の枠を超えてアスリート同士が交流しながら、集団生活を行うことを前提としており、これが選手村の特徴となっている。

こうした状況を十分に理解しながらも、選手団を感染症から守り、アスリートが最高のコンディションで競技に参加できる環境を提供することを目的に対策を実施する。

〈本村（晴海）〉（別紙2「選手村概要」参照）

- ・面積：約44ha
- ・ベッド数：18,000ベッド（オリンピック）、8,000ベッド（パラリンピック）
- ・関係者数：選手団約18,000人、来訪ゲスト/メディア等約2,000人/日、スタッフ約8,000人/日

〈分村（オリンピックセーリング村）〉

- ・施設名：大磯プリンスホテル（神奈川県大磯町）
- ・対象：江の島ヨットハーバーにおける競技

〈分村（オリンピックサイクリング村）〉

- ・施設名：ラフォーレリゾート修善寺（静岡県伊豆市）
- ・対象：伊豆ベロドローム等における競技

2. 対策の考え方

- 基本的な感染防止策の周知・徹底を図るとともに、選手村内の施設ごとの特性に応じた感染防止策を講じる。
 - 安全・安心なサービス提供を可能とすべく、必要に応じて空間的、時間的な一定の制約を付す。
 - 入村時等一時的に3密が想定される場面における混雑回避方を具体的に検討する。
 - 選手団以外の関係者に対しても、感染防止策を徹底する。
- 上記考え方をもとに、施設の特性等を踏まえ以下の対策の検討をしてはどうか。

3. 具体的な対策案

① メインダイニングホールにおける対策

アスリートに必要な栄養や、宗教・食習慣に対応した食事を提供。そのため、アスリート自らが料理を選択する方式を維持しつつ、混雑緩和等に向けて必要な対策を実施

- ☑ 調理スタッフが感染防止策を行ったうえで個別に料理を提供、必要に応じてあらかじめ小分けして提供する方法を導入
- ☑ 混雑緩和に向け、座席数削減、クロークの廃止、滞在時間短縮の検討を行う一方、カジュアルダイニング活用、利用者への混雑状況発信による利用時間分散化、メニューの事前案内、喫食時間制限などを検討し、サービスレベルの維持に努める
- ☑ 飛沫対策として、アクリル板等を設置
- ☑ 手指消毒の徹底、喫食時以外のマスク着用、換気設備の稼働など

3. 具体的な対策案

② フィットネスセンターにおける対策

選手団に運動やフィットネスの環境を提供。競技へのコンディションを整えるうえで、アスリートにとって非常に重要、不可欠な施設であるため、徹底した感染防止策を実施

- ☑ 混雑緩和のため、利用者をアスリート優先にする等の利用ルールの策定を検討
- ☑ 飛沫対策として、トレーニング機器間にアクリル板等を設置
- ☑ トレーニング機器・手指消毒の徹底、換気設備の稼働など

③ 選手村総合診療所における対策

アスリートに対し、救急科、整形外科等 8 診療科と薬剤、理学療法等 4 部門による医療サービスを総合的に提供。感染防止に万全を期すとともに、必要な医療を提供する方策を検討

- ☑ 診療科ごとの感染リスクを踏まえた診療手順の策定と感染防止策の徹底
- ☑ 予約制の導入により特定の時間に患者が集中することを防止
- ☑ 受診対象は緊急対応を除きアスリートに限定することを検討

④ 宿泊棟における対策

選手団が多く時間を過ごすスペース。戸数に限りがあり、1 部屋あたり複数利用が避けられないため、各アスリートが安心して過ごすことができるよう感染防止策を実施

- ☑ [居室] 選手団への日常生活における感染予防知識の周知とその実施徹底、日々の検温管理等、清掃やリネン交換時の換気、作業スタッフのマスク着用・手指消毒
- ☑ [居住者センター] アクリル板設置やマスク着用による飛沫防止、備品消毒
- ☑ [予約制会議室] 利用人数制限、リモート会議の推奨、サーキュレーター等設置
- ☑ [その他共有施設・備品] 高頻度接触箇所（エレベーター、リモコン等）の消毒など

⑤ ビレッジプラザにおける対策

アスリートの生活を支える各種店舗、メディアセンターが設置される施設。認証を受けたメディアや関係者ら多くの方々が訪れる、にぎわい施設となるため、混雑緩和等を含む感染防止策を実施

- ☑ 入場者制限や利用ルートを策定し、施設内の混雑緩和、密度軽減策を実施
- ☑ 各店舗等における感染防止策の徹底（ビニールシート等設置、マスク着用、消毒等）
- ☑ 出入口開放による外気循環やサーキュレーター等設置による密閉対策実施など

留意点

分村・選手村外宿泊の扱いについては、選手村(本村)の対策を参照しながら、今後、基準等を検討する。

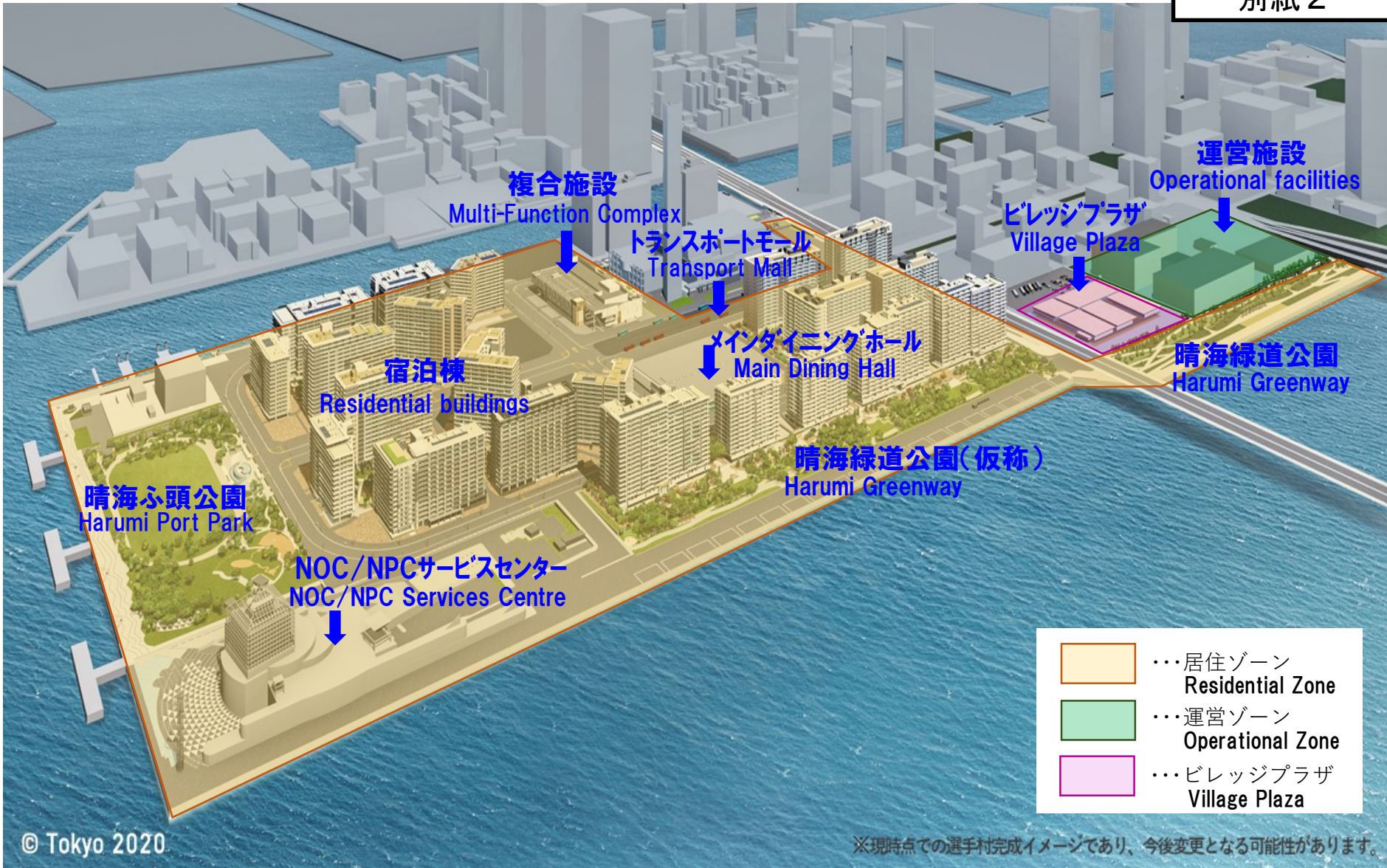
競技会場一覧 (1/2)

No	名称	用途（オリンピック）	用途（パラリンピック）
1	オリンピックスタジアム	開会式・閉会式、陸上競技、サッカー	開会式・閉会式、陸上競技
2	東京体育館	卓球	卓球
3	国立代々木競技場	ハンドボール	バドミントン、車いすラグビー
4	日本武道館	柔道、空手	柔道
5	東京国際フォーラム	ウェイトリフティング	パワーリフティング
6	国技館	ボクシング	—
7	馬事公苑	馬術（馬場馬術、総合馬術 [クロスカントリーを除く]、障害馬術）	馬術
8	武蔵野の森総合スポーツプラザ	バドミントン、近代五種（フェンシング ランキングラウンド（エペ））	車いすバスケットボール
9	東京スタジアム	サッカー、ラグビー、近代五種（水泳、フェンシング ボーナ斯拉ウンド（エペ）、馬術、レーザーラン）	—
10	武蔵野の森公園	自転車競技 [ロード（ロードレース・スタート）]	—
11	有明アリーナ	バレーボール（バレーボール）	車いすバスケットボール
12	有明体操競技場	体操	ボッチャ
13	有明アーバンスポーツパーク	自転車競技（BMXフリースタイル、BMXレーシング）、スケートボード	—
14	有明テニスの森	テニス	車いすテニス
15	お台場海浜公園	水泳（マラソンスイミング）、トライアスロン	トライアスロン
16	潮風公園	バレーボール（ビーチバレーボール）	—
17	青海アーバンスポーツパーク	バスケットボール（3x3 バスケットボール）、スポーツクライミング	5人制サッカー
18	大井ホッケー競技場	ホッケー	—
19	海の森クロスカントリーコース	馬術（総合馬術 [クロスカントリー]）	—
20	海の森水上競技場	カヌー（スプリント）、ボート	カヌー、ボート

競技会場一覧 (2/2)

No	名称	用途 (オリンピック)	用途 (パラリンピック)
21	カヌー・スラロームセンター	カヌー (スラローム)	—
22	夢の島公園アーチェリー場	アーチェリー	アーチェリー
23	東京アクアティクスセンター	水泳 (競泳、飛込、アーティスティックスイミング)	水泳
24	東京辰巳国際水泳場	水泳 (水球)	—
25	札幌大通公園	陸上競技 (マラソン・競歩)	—
26	幕張メッセ Aホール	テコンドー、レスリング	シッティングバレーボール
27	幕張メッセ Bホール	フェンシング	テコンドー、車いすフェンシング
28	幕張メッセ Cホール	—	ゴールボール
29	釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ	サーフィン	—
30	さいたまスーパーアリーナ	バスケットボール (バスケットボール)	—
31	陸上自衛隊朝霞訓練場	射撃	射撃
32	霞ヶ関カンツリー倶楽部	ゴルフ	—
33	江の島ヨットハーバー	セーリング	—
34	伊豆ベロドローム	自転車競技 (トラック)	自転車競技 (トラック)
35	伊豆MTBコース	自転車競技 (マウンテンバイク)	—
36	富士スピードウェイ	自転車競技 (ロード) [ロードレース (ゴール)、個人タイムトライアル]	自転車競技 (ロード) [ロードレース (スタート・ゴール)]
37	福島あづま球場	野球・ソフトボール	—
38	横浜スタジアム	野球・ソフトボール	—
39	札幌ドーム	サッカー	—
40	宮城スタジアム	サッカー	—
41	茨城カシマスタジアム	サッカー	—
42	埼玉スタジアム2002	サッカー	—
43	横浜国際総合競技場	サッカー	—

選手村概要



所在地：中央区晴海四丁目、五丁目地内